

環境についてのアンケート（子どもアンケート） 調査結果報告書（概要）

1. 調査概要

(1) 目的

次期柏市環境基本計画の策定にあたり、市内の児童・生徒（小学5年生・中学2年生）に対して、柏市の環境についての意見や考えを調査し、次期計画で取り組むべき事項等を把握する目的で実施した。

(2) 調査方法

対象	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校に通う小学5年生1,000人（無作為抽出） ・市内中学校に通う中学2年生1,000人（無作為抽出）
方法	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの案内を郵便で発送 ・調査票に記載の二次元コード・URLよりWEBで回答 ・設問は小学5年生と中学2年生で共通 ・小学5年生の回答者のため、設問文や選択肢には適宜ふりがなを追加
期間	2025年8月25日（月）～9月15日（月）

(3) 回答概要

区分	案内配布数	有効回答数（n）	有効回答率
小学5年生	1,000	385	38.5%
中学2年生	1,000	315	31.5%
（参考）全体	2,000	700	35.0%

2. 調査結果 概要

Q1. あなたのことについて教えてください。

Q1-1. 学年

回答者の学年は、小学5年生が55.0%（385名）、中学2年生が45.0%（315名）であった。

あなたは、何年生ですか。

(n=700)

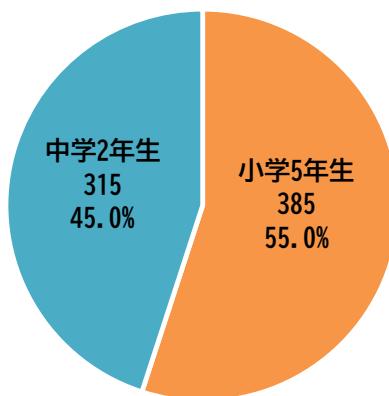


図1 回答者の学年

Q1-2. 居住地区

回答者の居住地区は、中央が42.9%（300名）、北部が28.6%（200名）、南部が17.6%（123名）、東部が11.0%（77名）であった。

あなたの住んでいるところはどこですか。

(n=700)

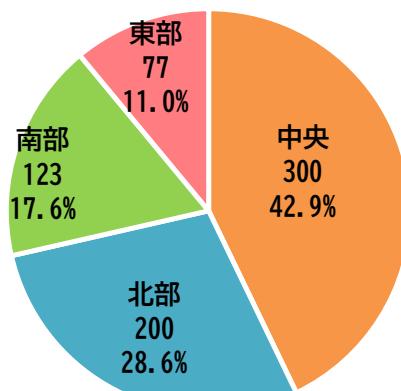
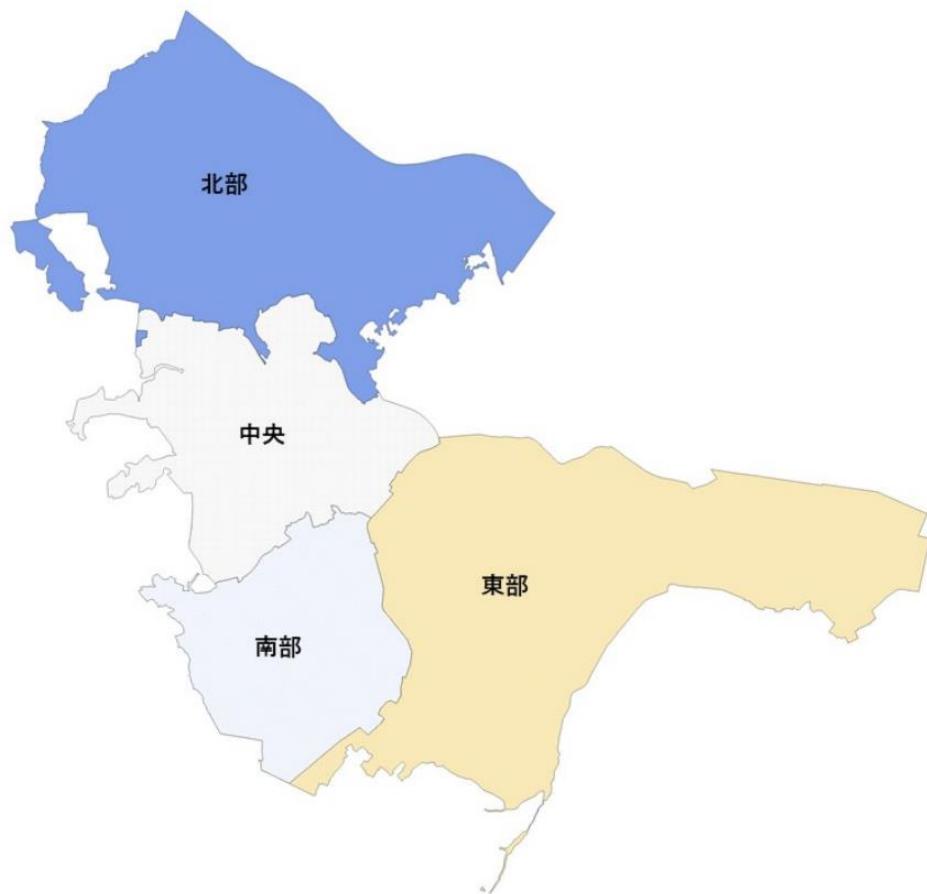


図2 回答者の居住地区

【参考】地区区分について



図出典：令和4年度柏市まちづくり推進のための調査結果報告書

＜地区区分表＞

①中央	緑ヶ丘、弥生町、明原、末広町、豊平町、豊町、豊上町、豊住、豊四季台、豊四季、富里、八幡町、柏下、柏、日立台、南柏中央、南柏、東柏、東台本町、東上町、東、中央町、中央、大塚町、大山台、泉町、千代田、西町、新富町、常盤台、松ヶ崎、若葉町、篠籠田、桜台、今谷南町、今谷上町、高田、向原町、戸張、吉野沢、亀甲台町、関場町、永楽台、旭町、ひばりが丘、かやの町、あけぼの、あかね町
②北部	北柏台、北柏、布施新町、布施下、布施、柏堀之内新田、柏の葉、柏インター南、柏インター東、中十余二、大青田、大室、船戸山高野、船戸、青田新田飛地、西柏台、西原、正連寺、松葉町、松ヶ崎新田、小青田、宿連寺、十余二、若柴、根戸新田、根戸、呼塚新田、花野井、伊勢原、みどり台
③南部	名戸ヶ谷、南増尾、南逆井、藤心、東中新宿、東山、東逆井、中新宿、中原、増尾台、増尾、青葉台、西山、新柏、新逆井、酒井根、光ヶ丘団地、光ヶ丘、逆井藤ノ台、逆井、加賀、つくしが丘
④東部	鷺野谷、緑台、柳戸、箕輪新田、箕輪、片山、布瀬、南高柳、藤ヶ谷新田、藤ヶ谷、塚崎、大島田、大津ヶ丘、大井、染井入新田、泉、手賀新田、手賀の杜、手賀、若白毛、高柳新田、高柳、高南台、五條谷、金山、岩井、しいの木台

Q1-3. 居住年数

回答者の柏市での居住年数は、10年以上が73.7%（516名）で最も多く、次いで5年以上10年未満が18.9%（132名）、1年以上5年未満が6.4%（45名）、1年未満が1.0%（7名）であった。

あなたは、柏市に何年住んでいますか。

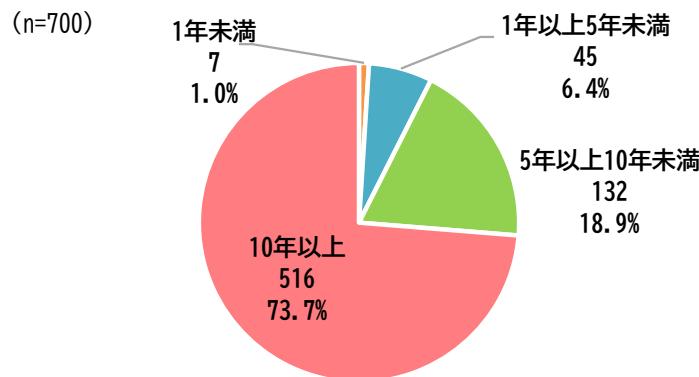


図3 回答者の居住年数

Q2. あなたは、次のことにどのくらい取り組んでいますか。（それぞれ1つ）

「している」「たまにしている」の割合が最も高かったのは、「ペットボトルや雑誌など、リサイクルできるもの（資源）をごみと分別している」で、90%以上が取り組んでいると回答した。次いで、「プラスチックのスプーンやフォークなど、使い捨てのものは使わないようにしている」は、75%以上が取り組んでいると回答した。

「学校の活動以外で、ごみ拾いや、花だんづくりなどのボランティアをしている」「学校の活動以外で、環境のイベント（生きものを守ったり、観察する体験や、農業体験など）に参加している」は、「していない」の割合が75%以上となっていた。

あなたは、次のことにどのくらい取り組んでいますか。

■ 全体 (n=700)

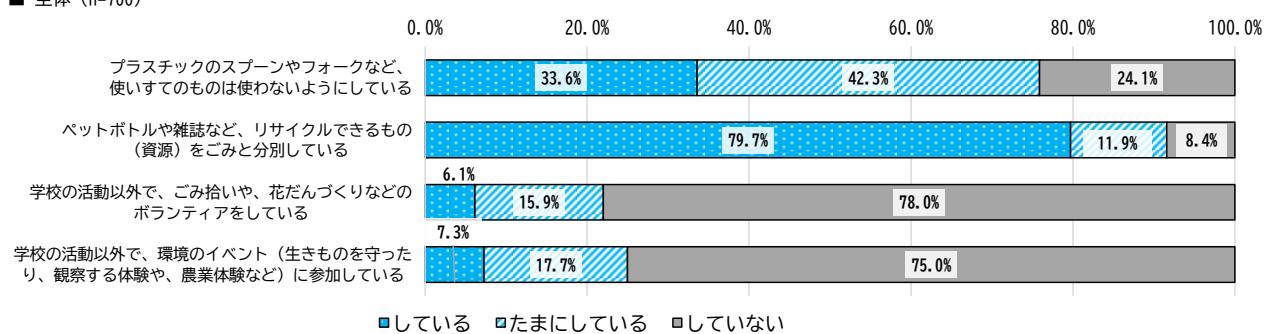


図4 環境に関する取組の実施状況

- 使い捨てプラスチックの使用削減やリサイクルに関する身近な取組は浸透している一方、環境に関するボランティアやイベントは、現状、限られた人しか参加していない。
- 環境に関するボランティアは、居住年数が長いと参加率が高くなる傾向にあった。市への愛着が、美化活動の参加につながる可能性がある。

Q3. Q2 「学校の活動以外で、ごみ拾いや、花だんづくりなどのボランティアをしている」について

- ・「している」「たまにしている」と答えた人：はじめたきっかけはなんですか。
- ・「していない」と答えた人：どんなきっかけがあれば、取り組みたいと思いますか。

Q3-1. 環境に関するボランティアを始めたきっかけ

環境に関するボランティアを始めたきっかけは、「環境を守りたいから」が40.9%で最も多く、次いで「おもしろそう・楽しそうだったから」が37.7%、「家族にさそわれたから・家のルールだから」が25.3%であった。

「学校の活動以外で、ごみ拾いや、花だんづくりなどのボランティアをしている」：はじめたきっかけはなんですか。

■ 全体 (n=154・複数選択可)

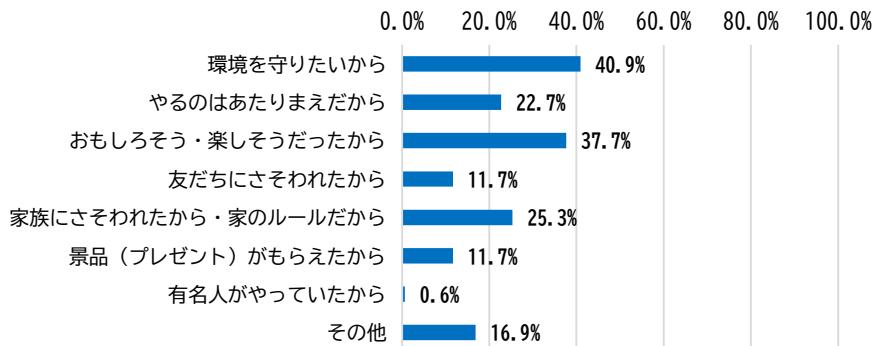


図 5 環境に関するボランティアを始めたきっかけ

Q3-2. 環境に関するボランティアに参加したくなるきっかけ

環境に関するボランティアに参加したくなるきっかけは、「学校の行事だったら」が60.8%で最も多く、次いで「友だちや家族にさそわれたら」が49.3%、「景品（プレゼント）がもらえるなら」が45.8%であった。

ごみ拾いや、花だんづくりなどのボランティア：
どんなきっかけがあれば、取り組みたいと思いますか。

■ 全体 (n=546・複数選択可)

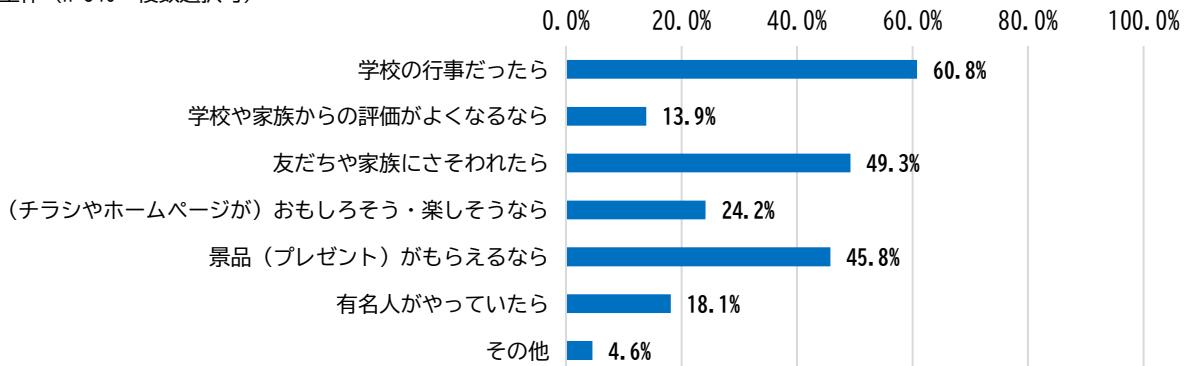


図 6 環境に関するボランティアに参加したくなるきっかけ

- Q4. Q2 「学校の活動以外で、環境のイベント（生きものを守ったり、観察する体験や、農業体験など）に参加している」について
- ・「している」「たまにしている」と答えた人：はじめたきっかけはなんですか。
 - ・「していない」と答えた人：どんなきっかけがあれば、取り組みたいと思いますか。

Q4-1. 環境に関するイベントに参加したきっかけ

環境に関するイベントに参加したきっかけは、「おもしろそう・楽しそうだったから」が 64.6%で最も多く、次いで「環境を守りたいから」が 31.4%、「家族にさそわれたから・家のルールだから」が 29.1%であった。

「学校の活動以外で、環境のイベント（生きものを守ったり、観察する体験や、農業体験など）に参加している」：はじめたきっかけはなんですか。

■ 全体 (n=175・複数選択可)

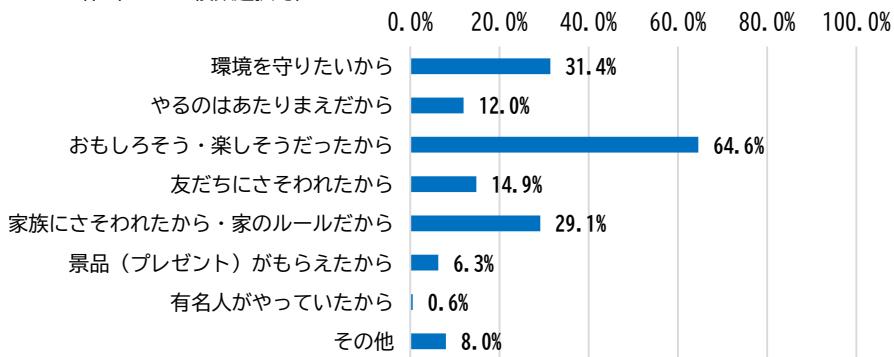


図 7 環境に関するイベントに参加したきっかけ

Q4-2. 環境に関するイベントに参加したくなるきっかけ

環境に関するイベントに参加したくなるきっかけは、「学校の行事だったら」が 60.6%で最も多く、次いで「友だちや家族にさそわれたら」が 49.3%、「景品（プレゼント）がもらえるなら」が 43.0%であった。

環境に関するイベント（生きものを守ったり、観察する体験や、農業体験など）：どんなきっかけがあれば、取り組みたいと思いますか。

■ 全体 (n=525・複数選択可)

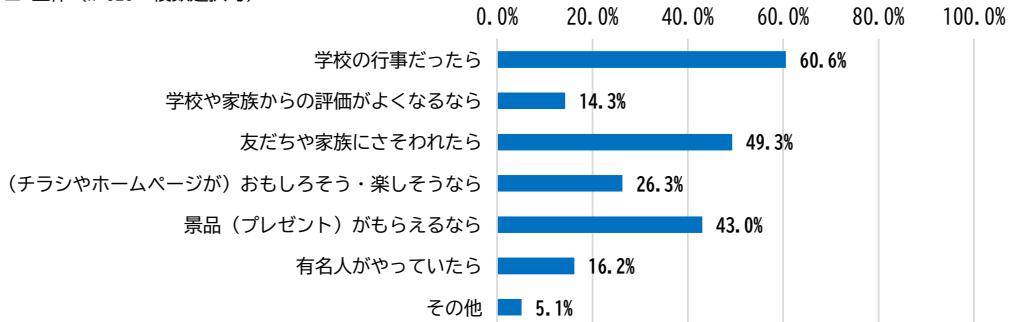


図 8 環境に関するイベントに参加したくなるきっかけ

- 学校における環境教育の促進や、家族や友人等と参加しやすい活動の検討・開催、景品等の検討・告知等により、環境に関するイベントやボランティアへの参加を促進できると考えられる。

Q5. ほかに、あなたが取り組んでいることがあれば教えてください。（環境を守るための取組）（自由回答・自由記述）

環境を守るための取組については、資源循環分野の回答が最も多く、次いで、地球環境分野の回答が多かった。

表 1 環境を守るための取組 主な回答

分野	内容
環境全般	・SDGsについての学習 　・環境への負荷が少ない製品の使用 など
地球環境	・節電 　・節水 　・公共交通機関、徒歩、自転車での移動 など
自然環境	・植物や野菜の栽培 など
資源循環	・ゴミの分別 　・ペットボトル等の資源化 ・マイボトルやマイバッグの使用 　・フードロスの削減 ・ゴミの持ち帰り（ポイ捨て防止） など
生活環境	・農薬や合成洗剤等の使用削減 　・雑草対策 など
環境共創	・ゴミ拾い等のボランティア活動への参加 など

Q6. リボン館について

Q6-1. リボン館の認知度

リボン館について、「知らない」が 60.7%で最も多く、「知っているし、行ったこともある」は 30.6%、「知っているが、行ったことはない」は 8.7%となっていた。

あなたは、「リボン館」を知っていますか。

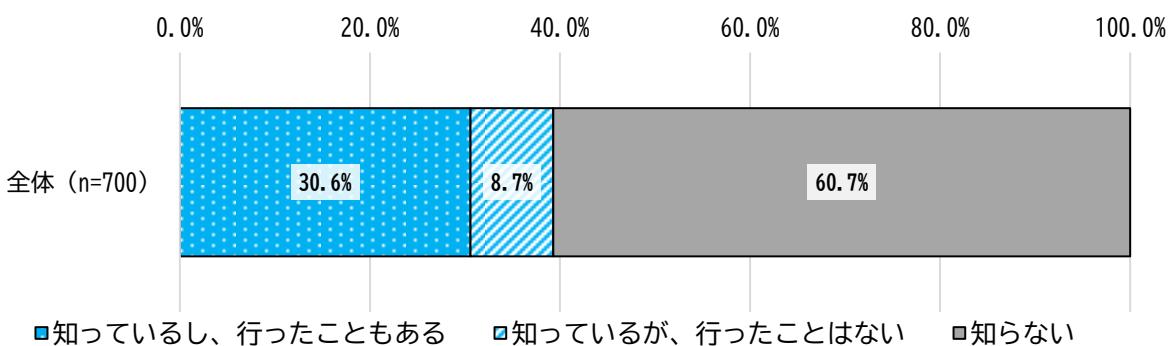


図 9 リボン館の認知度

Q6-2. リボン館について「知っているが、行ったことはない」：行ったことがない理由

リボン館に行ったことがない理由について、「場所を知らないから」が41.0%で最も多く、次いで「何をしているところか知らないから」「遠い・行きづらいから」が27.9%となっていた。

リボン館を「知っているが、行ったことはない」：理由を教えてください。

■ 全体 (n=61・複数選択可)

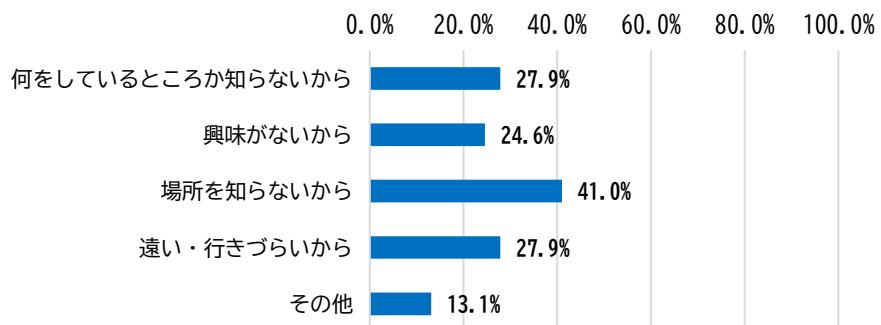


図 10 リボン館に行ったことがない理由

Q6-3. リボン館の活動に対する興味の有無

リボン館での活動（リサイクルの体験教室、市内小学校の見学の受け入れ、出前授業、市民から受け付けた不用品やリサイクル家具の販売）について、「とても興味がある」が11.6%、「すこし興味がある」が58.4%、「興味はない」が30.0%となっていた。

リボン館では、リサイクルの体験教室、市内小学校の見学の受け入れ、学校等へ訪問する出前授業、市民のみなさんから受け付けた不用品やリサイクル家具の販売をしています。あなたは、このような活動に興味はありますか。

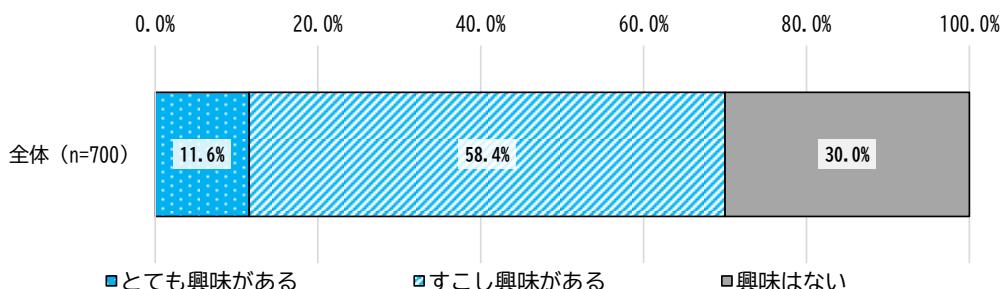


図 11 リボン館の活動に対する興味の有無

- リボン館を「知っているが、行ったことはない」理由 (Q6-2) について、「場所を知らないから」「何をしているところか知らないから」の割合が高かったが、Q6-3 の設問文等で活動内容を示すと、70%が「興味がある」と回答した。
- リボン館の場所や活動内容の周知の推進により、来場者の増加が期待できると考えられる。

Q7. 谷津田について

Q7-1. 谷津田の認知度

谷津田については、「知らない」が94.0%、「知っている」が6.0%となっていた。

あなたは、「谷津田」を知っていますか。

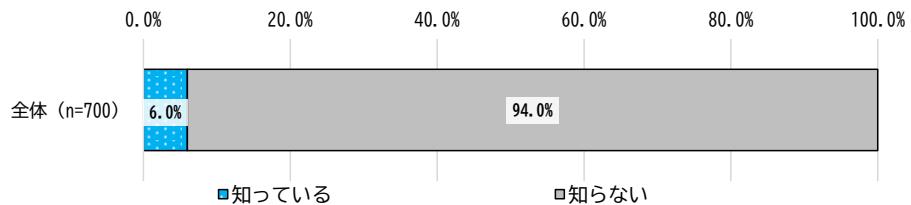


図 12 谷津田の認知度

Q7-2. 谷津田の保全への協力意志

谷津田の保全に対しては、「協力したいと思う」が70.6%、「協力したいと思わない」が29.4%となっていた。

あなたは、柏市の谷津田をきれいに守っていくために、協力したいと思いますか。

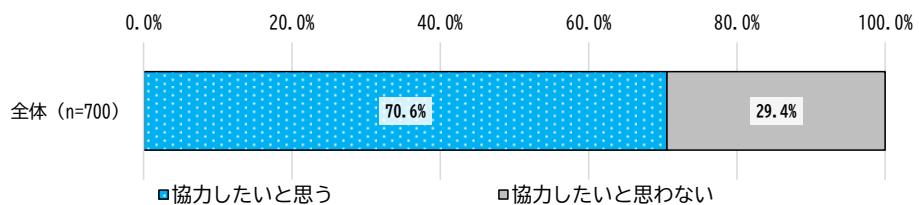


図 13 谷津田の保全への協力意志

- Q7-1 時点では谷津田の認知度は低いものの、Q7-1 後に挿入したコラム（下図参考）により、谷津田の役割を理解し、保全すべきだと考えた子どもが多かったと考えられる。
- 谷津田についての周知・情報発信を推進することで、子どもたちの谷津田に対する保全意識を高めていくことができると考えられる。

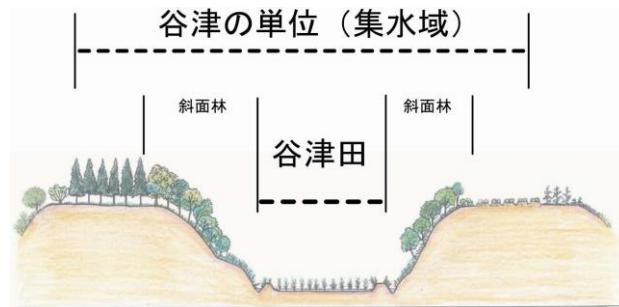
【参考】Q7-1 後に挿入したコラム

〈谷津田とは〉

台地に谷が入りこんだ地形のことを「谷津」と言い、谷津にある田んぼのことを「谷津田」と言います。

谷津田は、谷の深くに水のわき出し口があり、谷頭のため池、まわりの林、用水路などが一体となっています。

谷津田のまわりは、さまざまな植物や生きものの生活の場となっています。



Q8. 手賀沼について

Q8-1. 手賀沼を訪れる頻度

手賀沼を訪れる頻度について、「年に数回」が 69.0%で最も多く、次いで「行ったことがない」が 15.0%、「月に数回」が 13.1%となっていた。

あなたは、1年に何回くらい、「手賀沼」に行きますか。

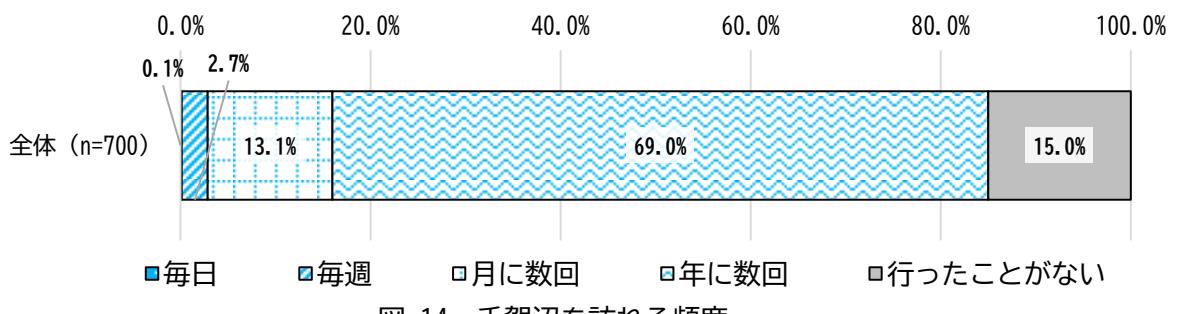


図 14 手賀沼を訪れる頻度

Q8-2. 手賀沼に年数回以上訪れている人：手賀沼でしていること

手賀沼でしていることについて、「道の駅しようなんでの買い物」が 49.4%で最も多く、次いで「花火大会を見る」が 46.7%、「道の駅しようなんやお店での食事」が 36.3%となっていた。

あなたは、手賀沼で何をしていますか。（手賀沼に年数回以上訪れている人への質問）

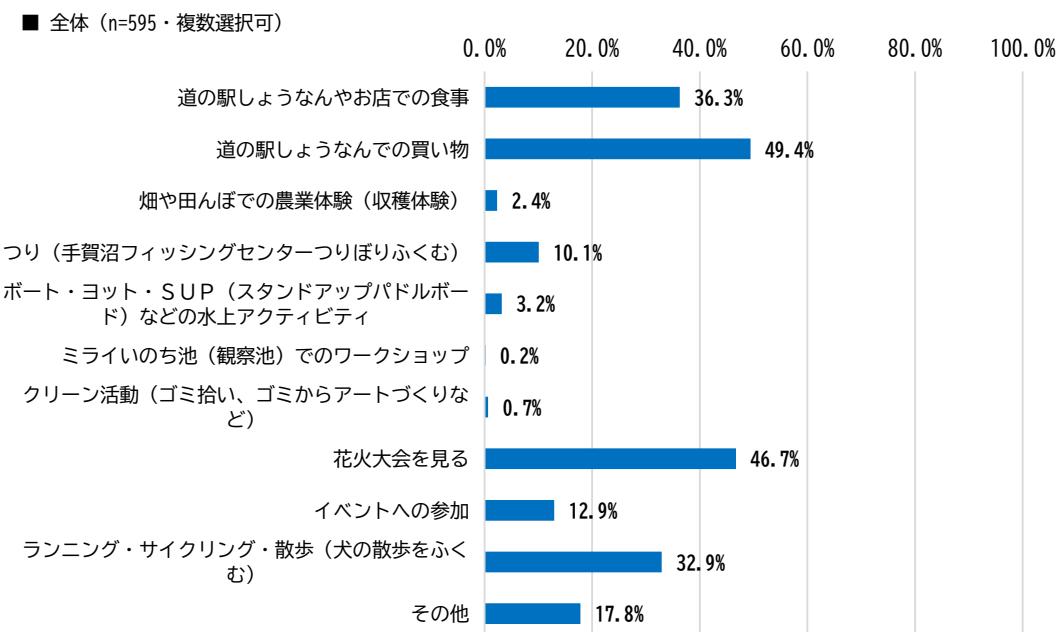


図 15 手賀沼でしていること

Q9. 手賀沼の保全活動への興味の有無

手賀沼の保全活動について、「とても興味がある」が15.6%、「すこし興味がある」が61.4%、「興味はない」が23.0%となっていた。

手賀沼の水や自然、生きものなどを守るために、多くの人がさまざまな活動をしています。
あなたは、こうした活動に興味はありますか。

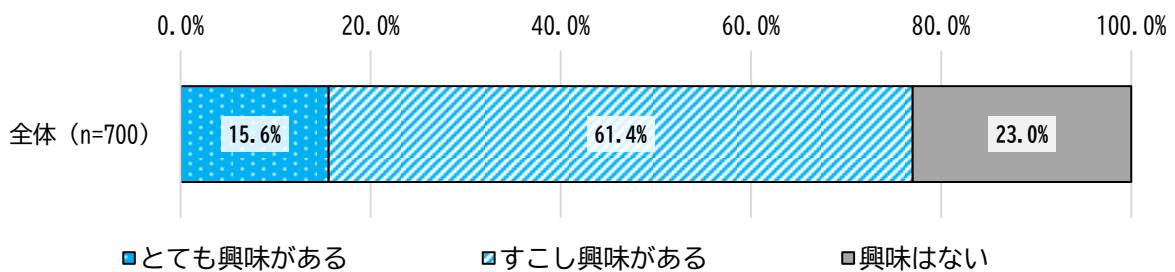


図 16 手賀沼の保全活動への興味の有無

Q10. 手賀沼の保全活動への参加意志

手賀沼の保全活動への参加意志について、「参加したい」が55.6%、「参加したくない」が44.4%となっていた。

手賀沼の環境を守るための活動があったら、参加したいと思いますか。

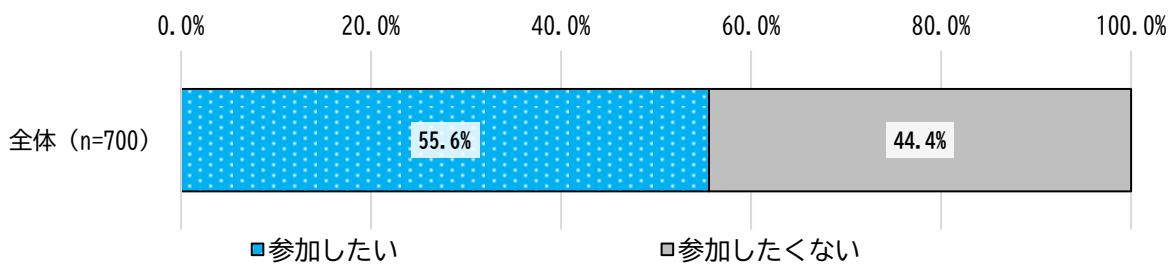


図 17 手賀沼の保全活動への参加意志

- 手賀沼との距離が近い地区や、手賀沼に訪れたことがある人が多い地区では、保全活動への興味や参加意志が比較的高かった。
- 手賀沼への親しみがあると、保全活動への興味・参加意志も高くなることが考えられる。
- 手賀沼に愛着を持てるような活動・イベントの開催等により、より多くの子どもに手賀沼に親しみを持ってもらうことで、保全意識の醸成を図る必要がある。

Q11. 環境に関するイベント・体験への参加意志（学校の活動以外）

環境に関するイベント・体験への参加意志について、「地産地消（柏産の野菜や果物などを料理し、食べる）イベント」は、60.7%の子どもが「ぜひ参加したい」「参加したい」と回答した。次いで「小川などに、生きものの生活場所をつくるイベント」は50.0%、「生きものや植物の観察会」は44.9%の子どもが「ぜひ参加したい」「参加したい」と回答した。

「環境についての学習会・勉強会」は、唯一「ぜひ参加したい」「参加したい」が30%未満となり、「参加したくない」「あまり参加したくない」が40%以上となっていた。

次のイベントや体験に、参加してみたいですか。（学校の活動以外で）

■ 全体（n=700）

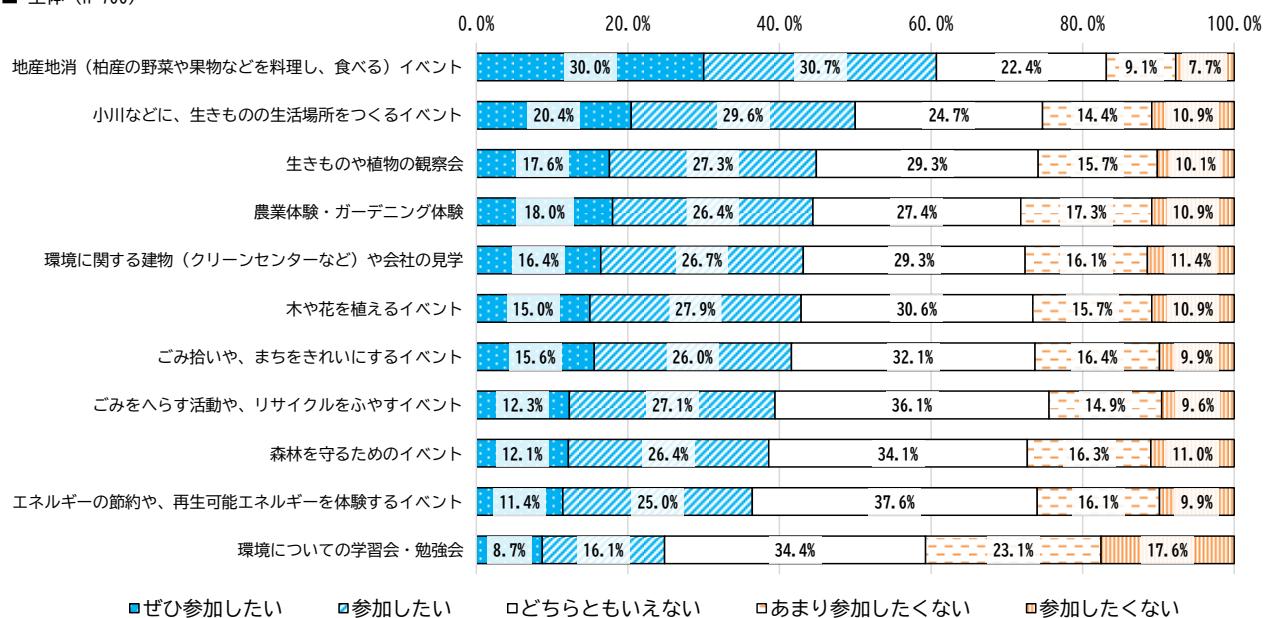


図 18 環境に関するイベント・体験への参加意志

- 料理・実食体験、自然環境や生きものに関する体験、ごみ拾いや清掃活動等の人気が高い傾向にあった。
- 全項目において中学2年生は、小学5年生と比べて「ぜひ参加したい」「参加したい」の回答割合が低くなっていた。
- 中学生以上の子どもの興味を引くイベント・体験の検討、中学生以上でも参加しやすい形態等、より多くの参加が図られる方法を考える必要がある。

Q12. 環境についての情報が発信された時に分かりやすい（気付きやすい）方法・媒体（3つまで）

環境についての情報が発信された際に分かりやすい（気付きやすい）方法・媒体は、「学校の授業」が84.3%で最も多く、次いで「テレビ」が34.4%、「身のまわりの人（家族・友だち・知り合いなど）」が30.7%であった。

環境についての情報は、どこで教えてもらえると分かりやすい（気づきやすい）ですか。

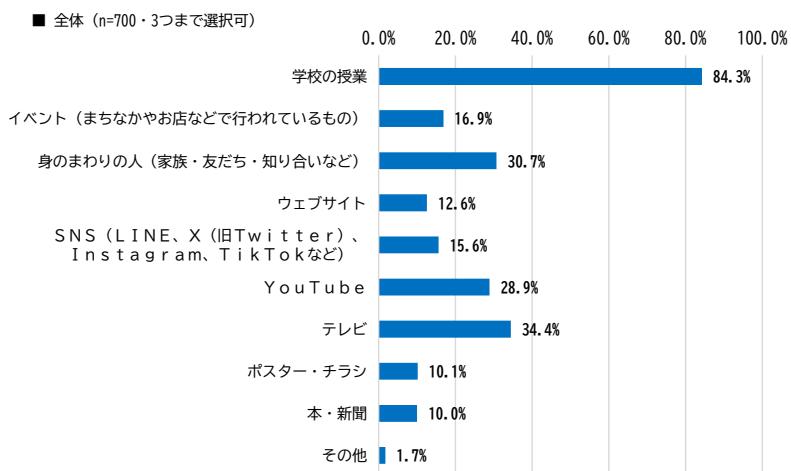


図 19 環境についての情報が発信された時に分かりやすい（気付きやすい）方法・媒体

➤ 学校や、対象の年代が多く利用する媒体での情報発信により、効果的な周知を図る必要がある。

Q13. 大人になった時、柏市の環境がどのようになっていたらうれしいと思うか（3つまで）

大人になった時、柏市の環境がどのようになっていたらうれしいと思うかについて、「水や空気がきれいである」が62.7%で最も多く、次いで「自然（緑・川・湖・生きものなど）がゆたかである」が56.0%、「エネルギーの節約や、再生可能エネルギー（地球温暖化対策）が広まっている」が42.0%であった。

あなたが大人になったとき、柏市の環境がどのようになっていたら、うれしいと思いますか。

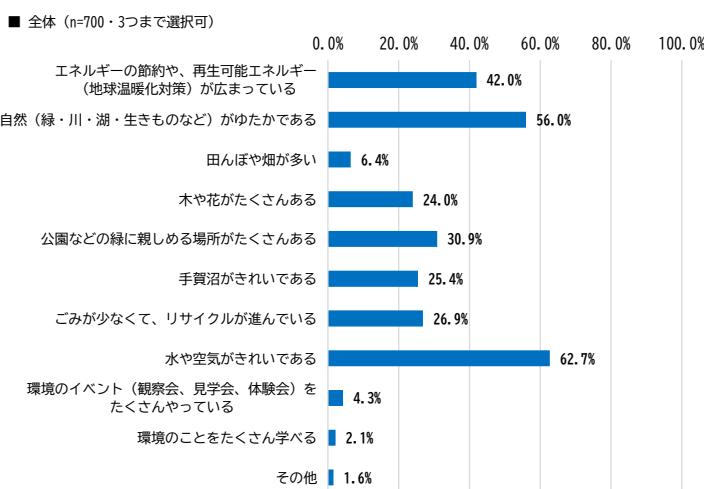


図 20 大人になった時、柏市の環境がどのようになっていたらうれしいと思うか

➤ 快適な生活環境や、豊かな自然環境を守るための取組を進めていく必要がある。

Q14. 柏市の環境を良くするためのアイデアや、意見があれば、自由に書いてください。 (自由回答)
(自由記述)

柏市の環境を良くするためのアイデア・意見については、資源循環分野、環境共創分野に対してのアイデア・意見が多く挙げられた。

表 2 柏市の環境を良くするためのアイデア・意見 主な回答

分野	内容
地球環境	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備の導入促進 ・公共交通機関の充実 ・環境にやさしい移動手段の充実 など
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・植樹 ・街中の緑を増やすこと ・外来種対策 など
資源循環	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ箱の設置 (ポイ捨ての防止) ・ゴミ拾いボランティア など
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の排気ガス対策 ・手賀沼の水質改善 など
環境共創	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業としてのボランティア、各種体験の実施 ・エンターテインメント性の高い環境イベントの開催 ・SNS を通じた周知・情報発信 など